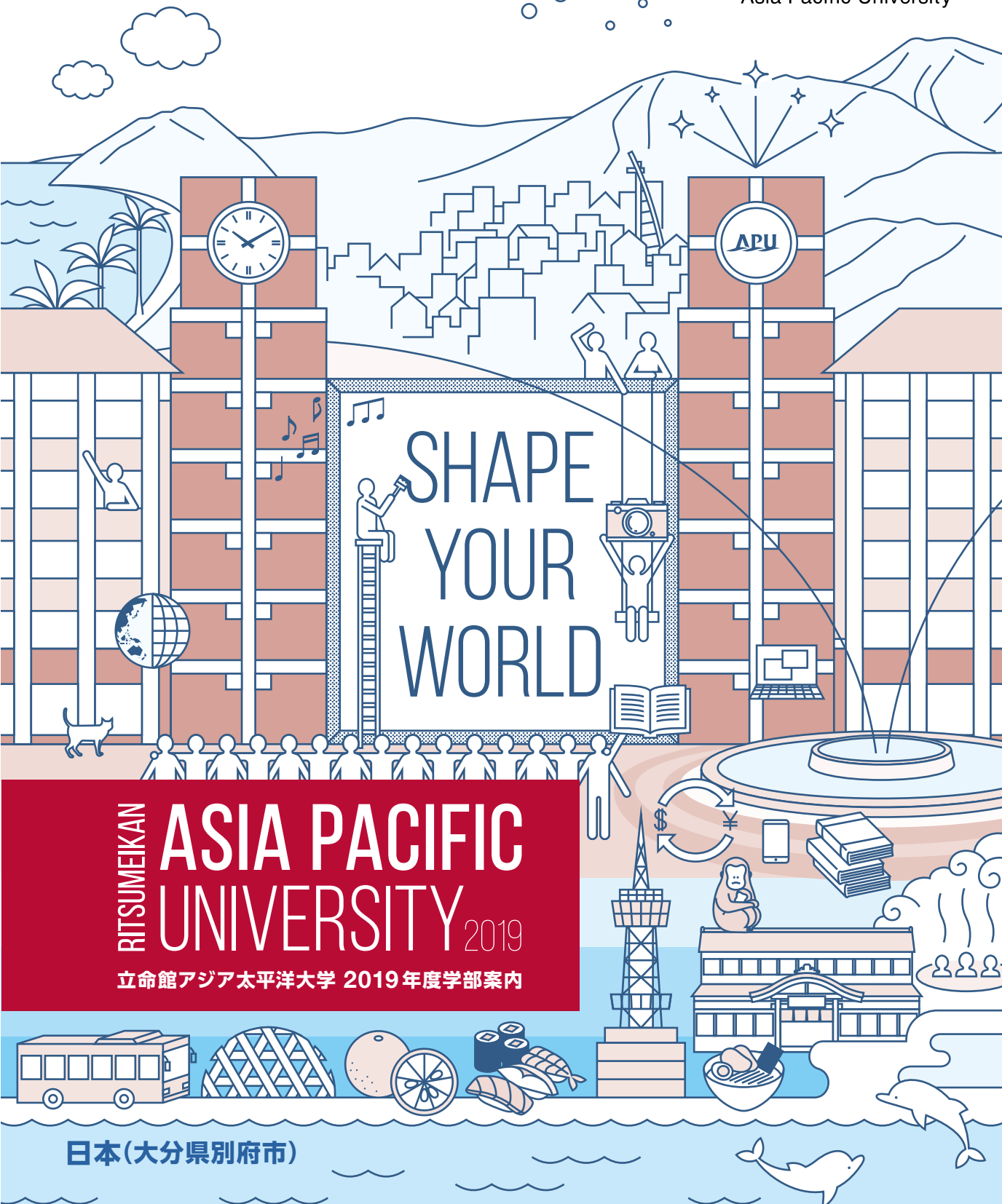


Ritsumeikan
Asia Pacific University

日本(大分県別府市)

2 SHAPE YOUR WORLD

3 数字で見るAPU

5 APUの教育

7 国際経営学部

9 アジア太平洋学部

11 講義・科目一覧

13 交換留学

15 課外活動

17 学生生活

21 キャリア教育

23 卒業生の声

25 入学試験ガイド

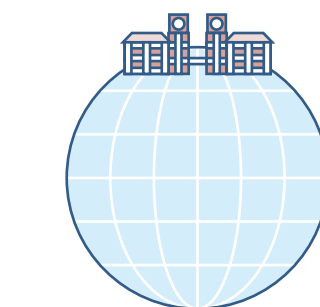
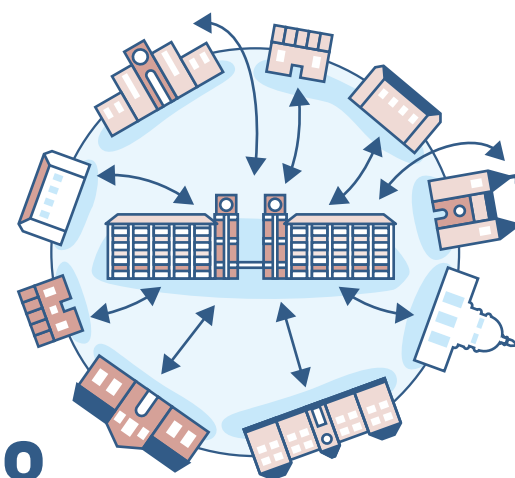
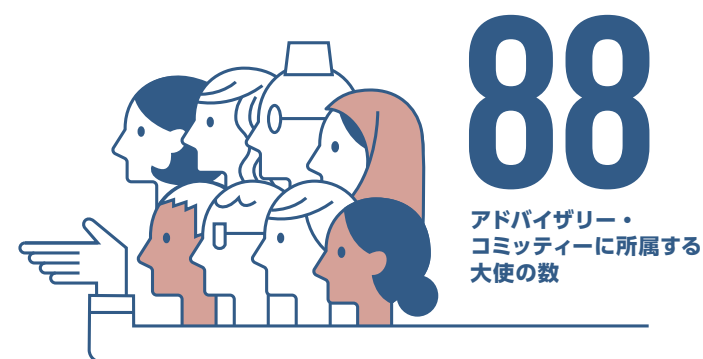
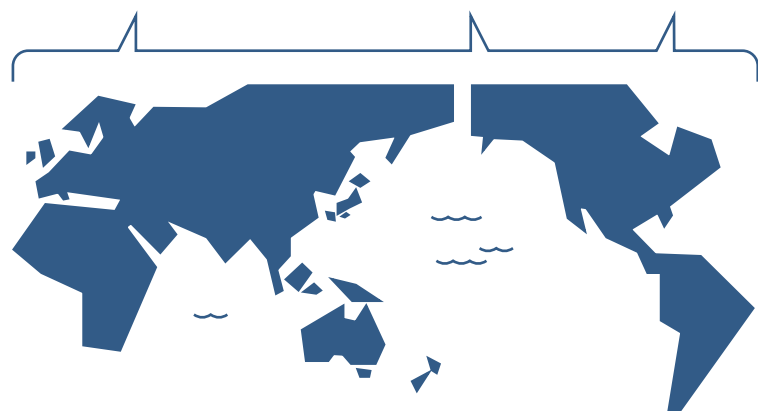
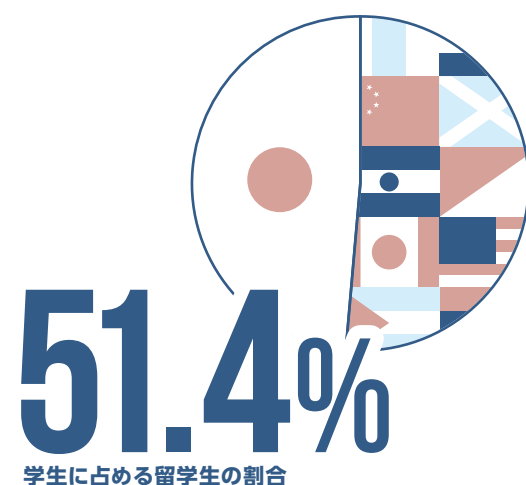
SHAPE YOUR WORLD

FREEDOM, PEACE, HUMANITY.
INTERNATIONAL MUTUAL UNDERSTANDING.
THE FUTURE SHAPE OF THE ASIA PACIFIC REGION.

立命館アジア太平洋大学（APU）は「自由・平和・ヒューマニティ」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として2000年に開学し、真のグローバルリーダーの育成を目的としてこれまでに無い全く新しい多文化学習環境を築いてきました。そして、開学から18年。これまでに世界140を超える国・地域から学生が集い、国や文化、宗教、政治、価値観等の違いを乗り越え、共に暮らし、世界が直面する課題の解決のために学んでいます。

APUの学びの出発点は「世界」。自分を磨き、世界への変化を作り出す一歩を踏み出しましょう。

APU BY THE NUMBERS



文部科学省より
「スーパー
グローバル大学」
に選出 (2014年)



3RD



日本の大学として3番目の
AACSB 国際認証取得



EDUCATION THAT INSPIRES YOU

世界的にもユニークな教育環境

Maheshwari Kalyanasundaram (インド) APS3回生

私は母国にはないユニークな教育を受けたい
と思い、APUを選びました。ここAPUでは、
自分の思い通りの大学生活を送ることがで
き、また目標としていた社会貢献活動にも全
力で取り組むことができます。APUに入学す
るまであまり知る機会が無かった国々の友人
と共に過ごす時間が、私にとって良い刺激と
なり、自分の殻を破ってさらに一步を踏み出す
後押しとなっています。私はAPUで、明確な
ビジョンや強い情熱を持ち、表現力も豊かで、
夢を追い続ける多くの人々に出会いました。
英語と日本語2つの言語でコミュニケーション
しながら、彼らと知識やスキル・文化を共に学
び、日々互いに高め合いながら過ごしています。



好奇心、冒険心、活動的、独創的、ひたむきさ…

これらの言葉は、新しい言語の学習、異文化理解、グローバルビジネスの探求、
そして世界の諸問題への革新的な解決策の発見など熱心に取り組むAPUの学生の様子をよく表しています。
グローバル社会で活躍する上で必要な知恵や経験、人脈を、このユニークな教育環境で獲得してください。

学びの場は世界へ

APUでの学びは、教室での授業や専門書等から得る知識に留まりません。APUでは、これまで歩んでき
た人生も価値観も異なる学生と教員とが、対話型の授業を通じて世界が直面する複雑な課題について議
論を交わし、そこで得た知識を社会で実践することを重視しています。また、フィールド・スタディや交換
留学、国際会議、学術大会、地域交流やインターンシップへの参加等の実践プログラムに積極的に参加
することで、得た知識の専門性を高めます。

バイリンガルからマルチリンガルへ

世界での活躍を展望する学生にとって、母語や日本語に加えて英語を習得することは必要不可欠です。
そのため、APUでは日本語で専門分野を学ぶとともに英語の習得を目指します。さらに、英語または
日本語に加えてもう一言語の習得をめざす学生を対象として、アジア太平洋言語科目（中国語、韓国語、
マレー語・インドネシア語、スペイン語、タイ語、ベトナム語）を開講しています。母国でも日本でも第三国
でも役に立つ新たな言語を、APUの授業で身に付けてください。

教育に飽くなき情熱を持つ教授陣

数十年に渡り研究者の道を歩んできた教員や国際企業・団体での社会経験を有する教員など、国際社会
での豊富な経験を持つ世界24カ国・地域出身の教員により、理論と実践の双方を重視した授業を展開し
ています。



学 部

学修分野

国際経営学部 (APM)

学士（経営学）

- ・イノベーション・経済学
- ・マーケティング
- ・経営戦略と組織
- ・会計・ファイナンス

アジア太平洋学部 (APS)

学士（アジア太平洋学）

- ・環境・開発
- ・観光学
- ・国際関係
- ・文化・社会・メディア

卒業には4年間で124単位を修得する必要があります。
また、将来への明確な目標を持つ学生のために、3年または3年半で学士号が取得できる早期卒業制度を用意しています。

COLLEGE 与 INTERNATIONAL MANAGEMENT [APM]

国際経営学部 (APM)

学士 (経営学)

APMでは、世界に通用する新世代のビジネスリーダーとなるためにグローバルな視野を広げ、企業倫理や問題解決能力を身に付けます。APMの学生は、経営を担う上での基礎となる知識の習得を行い、自分の興味に基づき専門分野を決めています。

APMは世界のトップビジネススクールの国際認証であるAACSB (Association to Advance Collegiate Schools of Business) を取得しているため、世界中の認証大学への交換留学など、国際基準の教育を受けることができます。

学修分野

会計・ファイナンス

企業の状態はお金の流れや増減によって判断されます。これを会計といい、企業活動に必要な資金の調達方法や運用方法の分野をファイナンスといいます。会計・ファイナンスの国際通用性のある深い知識を学び、専門性を養っていきます。

マーケティング

マーケティングコースではグローバル市場においてモノやサービスを生み出す手法を学びます。何を、どのくらい、いくらで、どのように提供すべきか。その理論や手法を学び、世界で活躍できる視野の広い企業人をめざします。

経営戦略と組織

組織が発展し続けるためには、社会的ニーズに応じた目標の設定と目標達成のために一定の行動原理や方法に従って活動することが必要です。国際企業や家業の成功を目指す方に最適な学修分野です。

イノベーション・経済学

イノベーションと効率的な生産管理は企業発展の原動力です。企業に変革をもたらす要因や多様な生産管理の手法、また経済基盤や企業が発展することでもたらされる社会の経済発展についても学びます。

Pajaree Ackaradejruangsri 助教 (タイ)

学位：博士 (アジア太平洋学)、立命館アジア太平洋大学

問題解決能力、クリティカル・シンキング、創造力これらはビジネスで成功するために最も重要なスキルです。つまり、独創的なアイデアを生み出し、複雑な問題への効果的な解決策を探り、相手を説得し自身のビジョンへ賛同を集める力です。これらのスキルは、新しいテクノロジーにより日々変わり行く複雑なビジネス環境を乗り切るために不可欠です。APUは、そのような環境へ適応する力をつけるために最適な場所と言えます。

APMで異なる経済背景の国々から来た学生とともに学び、新たな情報やアプローチを知ること、自身の考え方を再形成すると同時に、相手を説得し交渉するスキルを学ぶことができます。また、多様性や変化、イノベーションを抵抗なく受け入れられる域まで成長する機会ともなります。国際認証AACSBを取得したAPMのカリキュラムで学ぶことで、国際基準のビジネス知識を身につけるとともに、教員や友人のサポートを受けて、得た知識を応用し、新しいアイデアを試し、次なる社会の変化の波に対応する力を身につけていくことでしょう。



COLLEGE と ASIA PACIFIC STUDIES [APS]



アジア太平洋学部 (APS) 学士 (アジア太平洋学)

アジア太平洋地域の多様な政治、経済、社会、文化等を幅広く理解し、言語や情報技術、調査等の様々な手段を活用して複数の異なる分野を幅広く学ぶことで、世界が直面する複雑な課題を解決する力を養います。

第2～第6セメスターの間に、自身の学びを深める専門分野を選択します。
卒業後は政府、国際機関、旅行業、メディアや多国籍企業等での活躍が期待されます。

学修分野

環境・開発

アジア太平洋地域の将来を考えるには、環境資源への理解が不可欠です。経済優先の開発が様々な環境問題を引き起こしている今、持続可能な開発は時代の急務となっています。経済発展と環境保全の調和という観点から、持続可能な開発の方向性について考えます。

観光学

アジア太平洋地域の発展にとって重要なテーマである観光を通じた文化交流、地域・産業振興について、文化、社会、地域といった視点から学びます。さらに、観光ビジネスやサービス産業、福祉・医療の世界でも重視されているホスピタリティ(おもてなし)について、理論と実践の両面から学びます。

国際関係

紛争解決・平和構築について考察を深め、複雑化する国際社会の問題解決に取り組んでいける力を養います。国際法、政治学、経済学などを幅広く理解することで、国際関係、紛争解決、平和構築などの分野で必要な批判的思考、政策志向型のアプローチを学びます。

文化・社会・メディア

アジア太平洋地域の文化・社会・メディアについての学びを通じて、この地域が抱える諸問題への理解を深めると共に、世界全体を幅広く捉える視点と社会を複眼的に捉える目を養います。

Steven B. Rothman准教授 (アメリカ)

学位：博士 (政治学)、オレゴン大学

世界中から集まった学生と4つの学修分野の専門知識を有する教員陣が在籍しているアジア太平洋学部では、皆が教育者であり、学習者です。文化や言語、専門分野の違いを超えて、教員と学生が率直に意見を交わし、互いの知識やスキル、人生経験を共有しています。学生と教員のこの深いつながりが、他では経験できないような異文化体験を可能にしています。特に国際関係、観光学、開発、メディア文化を学ぶAPSの学生にとっては、最適な環境と言えます。

APUでの学習は教室の中だけにとどまらず、学生たちは日本または海外で数多くの課外活動に参加します。フィールド・スタディ、交換留学、学生による教育団体の活動などを通して、学修分野への理解がより深まり、成功をつかむ足がかりを得ます。APSの学位を得て卒業する時には、専門分野の確かな知識、成功へと導くライフスキル、そして一生にわたるグローバルな仲間を得ていることでしょう。

SUBJECT LIST

講義・科目一覧

以下の科目は2017年度の入学者向けの内容です。2019年度入学者については、内容が変わる可能性があります。

■ 共通教育科目 APMブリッジプログラム APSブリッジプログラム GIS入門 アジア太平洋の経済 アジア太平洋の言語 アジア太平洋の宗教 アジア太平洋の地理 アジア太平洋の文化と社会 アジア太平洋の歴史 異文化間コミュニケーション入門 異文化フィールドワークⅠ・Ⅱ インターネット技術統合 インターネット入門 インターンシップ ウェルネス 海外学習デザイン 開発学入門 華道 環境科学	環境学入門 観光学入門 キャリア・デザインⅠ-Ⅳ 経済学入門 国際関係論入門 コンピューターリテラシー 茶道 心理学 スタディスキル・アカデミックライティング 政治学入門 生命倫理 多文化協働ワークショップ 多文化比較論 データベースシステム データマイニング 統計学 特殊講義 (ICT) 特殊講義 (共通教養科目) 特殊講義 (日本学)	日本国憲法 日本の経済 日本の地理 日本の伝統芸能 日本の文化と社会 日本の歴史 ネゴシエーションスキル ピアリーダートレーニングⅠ・ⅡA・ⅡB ピアリーダートレーニング入門 プログラミング 文化・社会学入門 平和・ヒューマニティ・民主主義 法学 ボランティア研究 メディア制作ラボ メディア入門 ロジカルシンキングとフレームワーク
--	--	--

■ 言語教育科目 日本語 キャリア日本語 講義の日本語 日本語 (初級・中級・中上級・上級) 日本語・日本社会 日本語・日本文化 日本語ビジネスコミュニケーションA・B 日本語プロジェクトA・B・C・D・E・F 英語 英語 (初級・準中級・中級・準上級・上級) 英語多読 英語ディスカッションとディベート 英語ビジネス・プレゼンテーション	英語ビジネス・ライティング 英語プロジェクト1・2 ジャーナリズムのための英語 ビジネス英語1・2 メディアのなかの英語 AP言語 韓国語Ⅰ-Ⅳ スペイン語Ⅰ-Ⅳ タイ語Ⅰ-Ⅳ 中国語Ⅰ-Ⅳ ベトナム語Ⅰ-Ⅳ マレー語・インドネシア語Ⅰ-Ⅳ	特定講義 TESOL アジア太平洋言語入門 英語検定試験対策講座Ⅰ-Ⅲ 海外集中言語研修 国連公用語概論Ⅰ-フランス語 国連公用語概論Ⅱ-ロシア語 国連公用語概論Ⅲ-アラビア語 特殊講義 (言語教育科目) 日本語教育のための日本語学 日本語教授法
---	--	--

世界をつなぐ言語教育



Radoslav (Radi) T. Tsvetkov (ブルガリア) APM2回生

留学生にとって、新しい言語の習得は留学における大きな挑戦の1つです。日本語も例外ではありません。私はAPU入学前に、大阪で短期の語学留学経験があり、自分の日本語がAPUの日本語クラスでどのレベルに相当するのに関心がありました。新入生オリエンテーションの期間に行われた日本語のプレイスメントテストの結果、私は初級Ⅱのレベルに決まり、日本語を基礎から学びました。この1年間、授業で集中的に日本語を学び、授業以外でも日本人の友人と触れ合う中で、私の日本語は急速に上達しました。今では、日本語ネイティブの友人たちと自由に会話し、中級レベルの読み書きができるようになりました。これからの2年間も継続して日本語を勉強するつもりです。もし日本語を習得することが目標の1つならば、APUはみなさんにとって最適な場所であると確信します。



■ APM 専門科目

必修科目
会計学Ⅰ
基礎数学
金融論
グローバルマネジメント (Capstone)
経営学入門
上級数学
人材と組織行動のマネジメント
生産管理論
ビジネスエシックス
ビジネス法務戦略
マーケティング入門

経営戦略と組織 (SMO)

アントレプレナーシップ
経営戦略と組織 特殊講義
経営戦略論
国際取引
国際物流論
サービスマネジメント
サプライ・チェーン・マネジメント
人材マネジメント (上級)
組織行動論 (上級)
ファミリービジネス
ブランドマネジメント

会計・ファイナンス (AF)

会計 特殊講義
会計学Ⅱ
監査
管理会計論
金融市場と金融制度
原価会計
コーポレート・ファイナンス
国際会計
国際金融論
財務会計論Ⅰ・Ⅱ
上級会計
投資・証券分析
投資戦略
ファイナンス 特殊講義

イノベーション・経済学 (IE)

マクロ経済学
ミクロ経済学
アントレプレナーシップ
製品開発論
技術経営
オペレーションズ・リサーチ
イノベーション 特殊講義
アジア経済論
国際経済学
国際政治経済学
開発経済学
経済学 特殊講義

マーケティング (M)

E コマース
国際物流論
国際マーケティング論
サービスマネジメント
サプライ・チェーン・マネジメント
消費者行動論
製品開発論
販売・プロモーションマネジメント
ブランドマネジメント
マーケティング 特殊講義
マーケティング・リサーチ

APM 共通

APM フィールド・スタディ
経営情報システム
ソーシャルアントレプレナーシップ
特殊講義 (専門教育科目)
ビジネスインターンシップ
ビジネスケース分析・コミュニケーション
ビジネスデータ分析
プロジェクト研究

演習

専門演習Ⅰ・Ⅱ
卒業研究
卒業論文

■ APS 専門科目

コア科目

APS入門
地域研究入門

環境・開発 (ED)

GISとリモートセンシング
NPO/NGO研究
エコ・ツーリズム論
開発経済学
開発社会学・人類学
開発政策
開発政治論
開発のプロジェクト・マネジメント
環境・開発 特殊講義
環境・開発 フィールド・スタディ
環境経済学
環境コミュニケーション
環境政策
環境と社会
環境モデリング
基礎演習 (環境・開発)
国際機構論
国際協力論
国際経済学
コミュニティ・ベース・ツーリズム
コミュニティー開発論
産業生態学
資源マネジメント
生物多様性
地球環境問題
都市環境と開発
紛争と開発

文化・社会・メディア (CSM)

NPO/NGO研究
アイデンティティと政治
エスニシティと国民国家
カルチュラルスタディーズ
基礎演習 (文化・社会・メディア)
教育と社会
グローバルゼーションと規範
グローバル・ヒストリー
グローバル化と地域主義
グローバルメディアと紛争
言語と社会
国際社会学

ジェンダー研究
社会階層論
社会心理学
社会理論
宗教と信仰
人文学と近代
組織社会学
多文化社会学
日本の対外関係史
ニューメディアと社会
文化・社会・メディア 特殊講義
文化・社会・メディア フィールド・スタディ
文化人類学
メディアと政治
メディアと文化
メディアと法
メディアと歴史

観光学 (HT)

MICE産業論
遺産観光論
イベントマネジメント
エコ・ツーリズム論
オペレーションズ・リサーチ
開発のプロジェクト・マネジメント
観光・ホスピタリティと法
観光開発と計画
観光学 特殊講義
観光学 フィールド・スタディ
観光経済学
観光社会学
観光地マーケティングとマネジメント
観光とソーシャルメディア
観光文化論と観光史
基礎演習 (観光学)
健康とウェルネスツーリズム
コミュニティ・ベース・ツーリズム
人材マネジメント (上級)
組織行動論 (上級)
農業遺産とツーリズム
文化人類学
ホスピタリティ・マーケティング
ホスピタリティ・マネジメント
リゾート開発
旅行産業論

国際関係 (IRP)

アイデンティティと政治
アジア太平洋地域システム論
アジア太平洋における国際関係
アジア太平洋の比較政治経済
エスニシティと国民国家
開発政策
開発政治論
基礎演習 (国際関係)
グローバルゼーションと規範
グローバル化と地域主義
グローバルメディアと紛争
国際関係 特殊講義
国際関係 フィールド・スタディ
国際関係理論
国際機構論
国際協力論
国際政治経済学
国際政治史
国際紛争解決
国際法
国際問題と政策
人権論
政治理論
戦略分析と意思決定
日本の外交政策
日本の対外関係史
紛争と開発
平和学
暴力とテロリズム
メディアと政治
冷戦後の紛争と地政学

APS 共通

APS フィールド・スタディ
地域研究
特殊講義 (専門教育科目)
プロジェクト研究

演習

専門演習Ⅰ・Ⅱ
卒業研究Ⅰ・Ⅱ
調査研究入門

BROADEN YOUR HORIZONS

視野を広げる

世界で学ぶという選択肢

APUが学生交換協定を締結している、48カ国・計146の国内外の大学へ、学習目的に合わせて1年または半年間の留学ができます。また、授業料減免は留学中にも継続されるため安心です。

4年間で2つの学位を取得

APUでの2年間の学びに加えて、一例としてAPSでは、慶熙大学（韓国）、ザルツブルク応用科学大学（オーストリア）もしくはセント・エドワーズ大学（アメリカ）へ2年間留学することで、両方の大学の学位を取得し、卒業することができるプログラムを実施しています。



交換留学協定校一覧

■ アフリカ

ケニア

ユナイテッド・ステーツ・インターナショナル大学

ボツワナ

ボツワナ大学

モロッコ

ラバト国際大学

■ アジア

アゼルバイジャン

アゼルバイジャン外交大学

インドネシア

インドネシア大学
ガジャマダ大学
パラヒヤンガン・カトリック大学
ビヌス大学
プレジデント大学

韓国

蔚山大学
慶熙大学
国民大学校
高麗大学
淑明女子大学
西江大学
東西大学
漢陽大学
釜山国立大学
延世大学
梨花女子大学

キルギス

中央アジア・アメリカ大学

シンガポール

シンガポール・マネジメント大学

タイ

タマサート大学
マヒドーン大学

台湾

元智大学
国立政治大学
国立台湾師範大学
淡江大学
東海大学
逢甲大学

中国

IFT マカオ
香港大学
香港科技大学
香港樹仁大学
香港城市大学
香港中文大学
香港理工大学
北京師範大学—香港浸会大学聯合国際学院
マカオ大学

日本

大分大学
国際教養大学
立命館大学

フィリピン

アテネオ・デ・マニラ大学
デ・ラ・サール大学
フィリピン大学

ブルネイ

ブルネイダルサラーム大学

マレーシア

テイラーズ大学
マラヤ大学
マレーシア科学大学

■ ヨーロッパ

アイスランド

アイスランド大学

イギリス

ウエストミンスター・ビジネス・スクール
オックスフォード・ブルックス大学
カーディフ大学
ケント大学
ハートフォードシャー大学
レスター大学

イタリア

サクロクオーレカトリック大学
ベネチア・カ・フォスカリ大学
ルイーダ・ボッコニ商科大学

オーストリア

インスブルック・マネジメントセンター
ウィーン応用科学大学
ザルツブルク応用科学大学
スタティア・スクール・オブ・マネジメント

オランダ

ティルバーグ大学
ハーグ応用科学大学
ライデン大学

ギリシャ

アメリカンカレッジオブギリシャ

クロアチア

ザグレブ経済経営大学

スイス

チューリッヒ応用科学大学

スウェーデン

セーデルテルン大学
ハルムスタード大学
リンネ大学
ルンド大学

スペイン

IE 大学
アリカント大学
ロビライヴィルジリ大学

チェコ

メトロポリタン大学プラハ

デンマーク

オーフス・スクール・オブ・ビジネス
コペンハーゲン商科大学

ドイツ

SRH ハイデルベルク専門大学
カール学院国際大学
ツェッペリン大学
ハインリッヒ・ハイネ大学
ホーエンハイム大学
マクテブルク大学
ヨーロッパ大学ヴィアドリーナフランクフルト(オデル)

トルコ

イスタンブール商科大学

ノルウェー

アグダー大学
ノルウェー科学技術大学
ビーアイ・ノルウェー・マネジメント大学
ベルゲン大学

ハンガリー

ベチュ大学

フィンランド

タンペレ応用科学大学
ヘルシンキ大学
ローリア応用科学大学

フランス

ESC アミアン
ESSCA
ケッジビジネススクール
ネオマ・ビジネス・スクール
パリ経営大学
レンヌ商科大学

ベルギー

ヴェサリウス大学
リエージュ大学

ポーランド

コズミンスキー大学
ワルシャワ経済大学

ポルトガル

リスボン大学インスティテュートISCTEビジネス・スクール

マケドニア

ストルガ国際大学

リトアニア

ビリニュス大学

ルーマニア

ルーマニア・アメリカ大学

■ 北中南米

アメリカ

アメリカン大学
オールド・ドミニオン大学
オクラホマ大学
キャロルカレッジ
グランド・バレー州立大学
サンディエゴ州立大学
ジェームズ・マディソン大学
ジョージア工科大学
セント・エドワーズ大学
ニューメキシコ大学
ニューヨーク市立大学スタテン・アイランド校
ニューヨーク市立大学バッファロー校
ハワイ大学マノア校
フロリダ国際大学
ミネソタ州立大学モアヘッド校
ワイオミング大学

アルゼンチン

アルゼンティナ・デ・ラ・エンブレサ大学
ナシオナル・デル・リトラル大学

エクアドル

太平洋大学

カナダ

ケベック大学モントリオール校
HEC モントリオール
ウォータールー大学
サイモン・フレイザー大学
セント・メアリーズ大学
ブリティッシュ・コロンビア大学
ヨーク大学シュリーヒスクールオブビジネス
レスブリッジ大学

ペルー

サンイグナシオデロヨラ大学
太平洋大学

メキシコ

モンテレー工科大学
モンテレー大学

■ オセアニア

オーストラリア

ヴィクトリア大学
ジェームス・クック大学
チャールズスタート大学
西オーストラリア大学
ラトロブ大学

サモア

サモア大学



A CAMPUS LIKE NO OTHER



ここでしか経験できない日々

言語や文化、価値観等が異なる世界 90 の国・地域から集まった学生が共に学び、生活する APU のキャンパスでは、見るもの、聞くもの全てがこれまでの日常とは全く異なる新たな経験となります。学生たちはこのユニークな環境で様々な課外活動に取り組むことで協調性や主体性を身につけるとともに貴重な友情を築いています。

各国・地域の伝統芸術や生活文化を互いにより理解するために、さまざまな国・地域の学生が一体となって「マルチカルチュラル・ウィーク」というイベントを作りあげ、その過程で母国への誇りや他国への尊厳の念を育み、相互理解力・課題遂行力・自主性・協働性といったグローバル人材に求められる力を自然と身につけていきます。



クラブ・サークル一覧 (50 音順)

学術親睦ボランティア
“PRENGO”
合唱 “Musy Tone”
グローバルビジネスリーダー
シンビオ
男女ラクロス部
ハビタット APU
よさこい “よっしゃ虎威”
ラグビー部
和太鼓 “楽”
APU 空手部
APU サッカー部
APU 茶道部
International Relations
Student Association
K ポップダンス K-Muse

2017 年度 マルチカルチュラル・ ウィーク一覧 (50 音順)

インドネシアウィーク
オセアニアウィーク
京都ウィーク
韓国ウィーク
国際協力ウィーク
スリランカウィーク
タイウィーク
台湾文化ウィーク
中国ウィーク
ネパールウィーク
ファッションウィーク
別府ウィーク
ベトナムウィーク
ミャンマーウィーク

YOUR HOME AWAY FROM HOME

充実の学生生活をサポート

APUのキャンパスが立地する
海拔約330メートルの丘の上からは、
美しい別府湾や山々を一望することができます。

学内施設・設備

- ・図書館、メディアセンター
- ・食堂、カフェ、購買、和室、会議室、音楽・ダンススタジオ
- ・ミレニアムホール
- ・屋外ステージ
- ・体育館、フィットネスルーム
- ・多目的グラウンド
- ・屋外バスケットボールコート
- ・テニスコート
- ・ヘルスクリニック・カウンセリングルーム
- ・移動販売
- ・ATM
- ・郵便 など

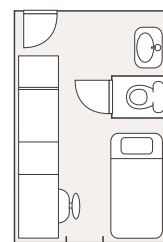
異文化理解が日常になる学生寮

学生寮APハウスは、世界中から集まった仲間たちと日常生活を通じて世界の文化や言語を互いに学べる他には類のない学生寮です。さらに各階に居住するRA (Resident Assistant) がAPハウスで生活していく上で必要な習慣やルールを教えてくれるため、日本での新生活を始めるのに最適な環境です。

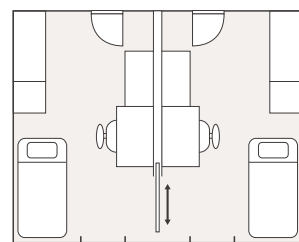
居室の間取り

個室とシェア、2つのタイプの居室を用意しています。シェアタイプでは原則として、留学生と日本人学生がルームメイトとなるため入寮初日から国際的な環境に身を置くことができます。また、居室内のドアを開めることでプライバシーの確保も可能です。

個室タイプ



シェアタイプ



APハウスの統計情報

378 シェアルーム数	932 個室数	1,138 入居者数	61.1% 入居者における 国際学生の割合
52 入居する学生の 国籍数	44 共同キッチン数	49,000円 寮費 (月額)	

APハウスの設備

- ・シャワーブース
- ・共同浴場
- ・コンピュータールーム
- ・学習室
- ・購買
- ・24時間警備
- ・ビリヤード等の娯楽設備
- ・バスケットボールコート
- ・空調
- ・インターネット

※費用は変更になる可能性があります。



図書館



カフェテリア



スチューデントユニオン



図書館 グループワークスペース



生協



APハウス ルーム内



スチューデント・オフィス、キャリア・オフィス



スポーツジム



移動販売



APハウス ロビー

学生生活

SETTLING IN

心から落ち着ける街

留学に適した国、日本

世界第3位の経済大国である日本は、世界的にも美しい景色や豊かな伝統・現代文化で知られています。また、最先端の技術力を持ち、世界で最も安全な国としても知られており、安心して学習に集中できます。

国際観光文化都市、別府

日本列島の南に位置する九州の海沿いの町「別府」にAPUはあります。別府市は、日本の伝統文化が今も残る町並み、そして世界有数の温泉地として知られ、国内外から多くの観光客が集う一大観光地となっています。また、別府は国内外のその他の都市と比較しても安全で、生活費を安く抑えることができるため、留学には最適な環境です。

街での暮らし

2回生になりAPハウスを退寮した後は、別府市内のマンション等に入居します。友人とルームシェアをすることで家賃を安価に抑え、語学力を大きく向上させるなど、生活スタイルは様々です。また、市内にはショッピングモールやカフェ、カラオケ、ボウリング場や世界各国のレストランなどがあり便利です。清潔で安全な飲料水、新鮮な空気、木々や花が綺麗な公園、体育館やプールなどの運動施設に加え、病院等の医療施設も充実しているため健康的な生活を送ることができます。また、怪我や病気をした際にもAPUの入学者は国民健康保険に加入するため治療費は30%の負担で済みます。

日常生活が学びの場

日本では「資格外活動許可証」を取得することで、授業期間中は週28時間（長期休暇中は週40時間）まで働くことができます。アルバイトでは収入を得られるだけでなく、日本企業のサービスやおもてなしの精神を学ぶこともできます。ただし、学生である以上はアルバイトを優先しないように注意が必要です。なお、学内でのアルバイトの多くは日本語を必要としませんが、学外では会話ができる程度の日本語力が必要です。



数字で見る別府市			年間平均気温	
118,877 別府市人口	4,275 外国人人口	2,217 源泉数	1月 5℃ / 41°F	4月 14℃ / 57°F
1,374メートル 別府で最も高い山：鶴見岳		№1 №2 日本第1位、世界第2位の 温泉湧出量	7月 28℃ / 82°F	10月 20℃ / 68°F

CREATING A BRIGHTER TOMORROW

世界へと踏み出す時

インターンシップ

産学官連携による重要な人材育成プログラムの1つであるAPUインターンシッププログラムでは、企業や自治体などで実務に挑み、仕事への理解を深めることでキャリアビジョンを明確にしていきます。また、本学と企業・団体が協定を結んでいる「協定型」では、一定条件を満たせば単位として認定されます。

人生の岐路に立つ

APUではキャリア・オフィスが希望の進路を実現するために必要な様々なサポートを行っています。グローバル化した社会で生き抜くために必要な言語運用能力や知識を身に付け、様々な経験を積んだAPUの学生たちの就職決定率は96.7%と高く、主な進路は製造業や商社、国際機関など非常に多様です。通常、日本で就職をするためには企業・団体の本社等で行われる選考会に出席する必要があります。APUでは、国内外から年間300社以上の企業・団体が来学し、会社説明会や筆記試験、面接といった採用の一連をキャンパスで実施しているため、大学にいながらにして企業を知ることができます。また、卒業後多くの学生が世界中の大学院へ進学する一方で、日本や海外で起業する学生も少なくありません。

主な内定先企業〔2016年度〕(50音順)

アデコ株式会社
株式会社NTTドコモ
公文教育研究会
JTB Pte. Ltd.
新日鉄住金株式会社
ステートストリート信託銀行
全日本空輸株式会社
株式会社帝国ホテル
デロイトトーマツコンサルティング合同会社
日本IBM株式会社
日本オラクル株式会社
日本航空株式会社
野村證券株式会社
パナソニック株式会社
株式会社バンダイナムコゲームス
富士通株式会社
ブルームバーグ
本田技研工業株式会社
株式会社みずほフィナンシャルグループ
三井化学株式会社
ヤンマー株式会社
株式会社ユニクロ
Line株式会社
株式会社りそな銀行
ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社



主な進学先大学院 (国・地域による50音順)

イェール大学大学院 (アメリカ)
ミシガン大学大学院 (アメリカ)
オックスフォード大学大学院 (イギリス)
リーズ大学大学院 (イギリス)
オーストラリア国立大学大学院 (オーストラリア)
ニューサウスウェールズ大学大学院 (オーストラリア)
エラスムス・ロッテルダム大学大学院 (オランダ)
ライデン大学大学院 (オランダ)
ブリティッシュコロンビア大学大学院 (カナダ)
マックマスター大学大学院 (カナダ)
慶熙大学大学院 (韓国)
高麗大学大学院 (韓国)
シンガポール国立大学大学院 (シンガポール)
ルンド大学大学院 (スウェーデン)
チュラーロンコーン大学大学院 (タイ)
コペンハーゲン商科大学 (デンマーク)
アルベルト・ルードヴィッヒ大学フライブルグ (ドイツ)
ビーレフェルト大学 (ドイツ)
京都大学大学院 (日本)
東京大学大学院 (日本)
早稲田大学大学院 (日本)
ノルウェー経営大学大学院 (ノルウェー)
IESEG 経営学院 (フランス)
香港城市大学大学院 (香港)
香港中文大学大学院 (香港)

ALUMNI JOURNEYS

卒業生の声



APU バース大学 大学院・博士課程

Alisha Tuladhar (ネパール)

APM 2015 年 卒業 居住地：イギリス

APUでの最終年、セミナー担当教員の指導の下、私はバース大学のイノベーション・テクノロジー・マネジメントの修士課程に合格しました。APUにおいて、学業面では、主要なビジネスの概念や理論を学び、修士課程進学へのゆるぎない基礎を築くことができました。学業以外の面では、異文化を理解し寛容の精神を持つこと、問題解決、多文化チームワークを通して学んだことが、私に新しい学びの場所であるイギリスで生きていく自信と力を与えてくれました。修士課程卒業後は、さらに研究を続けるためバース大学の経営学研究科博士課程に出願しました。みなさんへアドバイスしたいことは、「APUに入学したら、国際性あふれるキャンパスを最大限活用してください」ということです。ためらわず新しい言語に挑戦し、サークルやボランティア活動に参加してください。そして最も重要なことですが、世界から集まった友人たちの声にぜひ耳を傾け、彼らから学ぶ気持ちを忘れないでください。



APU タイ 外務省

Sukuma (Anda) Uttarak (タイ)

APS 2017 年 卒業 居住地：タイ

私は職業柄、メディア関連の学位を持っていると思われがちですが、「実は国際関係が専攻でした」と言うときよく驚かれます。現在タイの外務省でビジュアル・コミュニケーション・デザイナーとして働く上で、国際関係を専攻したことが大変役立っています。私の仕事は、専攻で学んだ創造性と政策とのつながりで成り立っているためです。具体的には、ビジュアル・デザインを作成し、それらを通じて政治や法律、経済などの複雑なトピックについて国民の理解を得ることが仕事です。APUでは、外交分野でキャリアを築くための基礎を学んだだけでなく、アーティストとしてのデザイン能力も養うことができ、APUでの経験にとても感謝しています。APUでの4年間で、友人と共同で写真や動画を撮影したり、マルチカルチュラル・ウィークのために数多くのビジュアル・プロジェクトを行いました。また、「ファインディング・ホーム」というテーマでAPU学生が撮影した写真を集め、別府市で展示会も開催しました。APUで私は、自分でも気づいていなかった新たな自分を発見し、自らの能力そして夢を見出すことができました。

APU 国際連合 世界食糧計画 国際連合 ボランティア計画

Dong Uk Shin (韓国)

APS 2016 年 卒業 居住地：ドイツ

APUを卒業後、国連世界食糧計画(WFP)で1年間インターンとして働き、その後国際開発分野でさらに経験を積むべく、国連ユースボランティアに参加しました。現在は、国連ボランティア計画(UNV)の本部があるドイツのボンで、難民・移民危機に対するUNVの活動を特にソーシャルメディアを通じて全ヨーロッパに向け発信し、認知向上に努めています。今後、ギリシャに渡って他のUNボランティアと合流し、難民の写真を撮影し危機を訴えるプロジェクトに参加する予定です。UNVは非常に多文化な職場ですが、APUで世界中から集まった友人や先生方と過ごしてきた経験のおかげで、全く違和感無く、自然に職場に溶け込むことができています。



APU アッヴィ バイエル(日本)

John Mungai (ケニア)

APM 2009 年 卒業 居住地：東京(日本)

東京の製薬関連企業で数年勤務した後、2016年にバイエル薬品に財務マネージャーとして入社し、現在は昇進しシニアマネージャーとして勤務しています。私は、人生を豊かにする素晴らしい製品を生み出すこの会社で働くことに、大変誇りを感じています。医薬を通じて、癌患者の生存率を上げる、生活の質を向上させる、愛する人とのかけがえのない時間をプレゼントする、そんな手助けができることに大きなやりがいを感じています。私の仕事は、長期的な戦略立案、年間予算の調整、業務管理に加え、腫瘍学、血液学、眼科学の三つの分野に薬品を提供することです。これは、計630億円以上の収益となる事業です。業務を進める上で、ステークホルダーに対する高い説明能力が必要であり、また異なるタイムゾーンや文化に対応することも求められます。APUでファイナンスを学び、異なる文化や言語、地理的条件に適応することを学んだ私にとっては、まさに天職です。APU卒業生の一人としてのみなさんへのアドバイスですが、対人・対異文化コミュニケーションのスキル向上に積極的に取り組んでください。そして、変化を喜んで受け入れられるような人を目指してください。



FEES AND SCHOLARSHIPS

費用・奨学金

入学1年目に必要な費用

	1回生新入学	2回生編入学・転入学	3回生編入学・転入学
標準修業年限	4年	3年	2年
入学金	130,000円 (1,130 USドル)	130,000円 (1,130 USドル)	130,000円 (1,130 USドル)
授業料	1,328,000円* (11,548 USドル)	1,412,000円 (12,278 USドル)	1,412,000円 (12,278 USドル)
住宅補償料・保険料	16,200円 (141 USドル)	12,380円 (108 USドル)	8,540円 (74 USドル)
APハウスの入寮にかかる前納金	228,000円 (4月入学) / 203,500円 (9月入学) (1,983 USドル (4月入学) / 1,770 USドル (9月入学))		
APハウスの寮費 (月額)	49,000 JPY (426 USドル)	49,000 JPY (426 USドル)	49,000 JPY (426 USドル)

*2回生～4回生までの年間授業料額は1,412,000円です。
上表に記載のUSドル表示はあくまでも参考です (1ドル115円計算)。支払いは日本円で行う必要があります。
また、上表の金額は変更になることがあります。

入学金

入学手続を行う際は、合格発表日から約4週間後に設定された締切日までに入学金の納入が必要です。一旦納入された入学金は理由のいかんに関わらず返還いたしませんので、ご注意ください。

授業料

第1セメスターの一部授業料 (APU 授業料減免の採用者は予め減額された金額) を入学手続時に納入することが必要です。年間授業料の残額は入学後に請求されます。

住宅補償料・保険料

本学で学ぶ国際学生の日常生活における賠償責任事故に備え、国際学生全員が加入する保険の費用です。

APハウスの入寮にかかる前納金

国際学生の新入生全員が入寮する学生寮APハウスの前納金として全員が支払う必要のある費用です。内訳は入居費 (32,000円)、敷金 (98,000円)、2ヶ月分 (4月入学) または1.5ヶ月分 (9月入学) の家賃 (月額49,000円) です。

生活費

上表に記載の寮費を含めて、日本での生活には年間約100万円 (約8,696USドル) が必要です。

奨学金

APUは優秀で経済的に修学困難な学生に対して4年間 (標準修業年限) の修学に適用される独自の授業料減免制度 (年間授業料額の30%.50%.65%.80%.100%を減免) を設けています。授業料減免の採用者は入学までに留学ビザの取得が必要です。その他、入学後に優秀な成績を修めた学生や在学中に自主活動で成果を上げた学生を対象とした奨学金制度もあります。



APPLY TO APU

出願方法



<http://r.apu.jp/apply>

出願期間

2019年4月入学：

2018年6月1日 (金)～2018年10月17日 (水)

2019年9月入学：

2018年9月3日 (月)～2019年3月27日 (水)

日本、中国、インド、インドネシア、韓国、タイ、ベトナムに居住する志願者には、上記日程以外の試験日程を設定しています。詳しくはアドミッションズサイトまたは入学試験要項をご確認ください。

編入学・転入学を希望する場合、正式な出願の前に事前審査があります。

事前審査の日程については、アドミッションズサイトにてご確認ください。

https://admissions.apu.ac.jp/how_to_apply/transfer_students/

出願資格

学歴：

1回生新入学：通常の課程による12年の学校教育を修了した者または修了見込みの者

編入学・転入学：通常の課程による13年もしくは14年の学校教育を修了した者または修了見込みの者

※その他、出願資格の詳細は入学試験要項をご確認ください。

言語能力の最低基準：

試験	1回生新入学	編入学・転入学
TOEFL® iBT Test	61	79
TOEFL® PBT Test	500	550
TOEIC® L&R Test *1、2	700	780
IELTS	5.5	6.0
英検	準1級	1級
PTE Academic	45	50
Cambridge English Language Assessment	FCE	FCE Grade B

*1 TOEIC®, TOEFL®はEducational Testing Service (ETS) の登録商標です。

この製品はETSの検討を受けまたはその承認を得たものではありません。

*2 L&RはLISTENING & READINGの短縮形です。

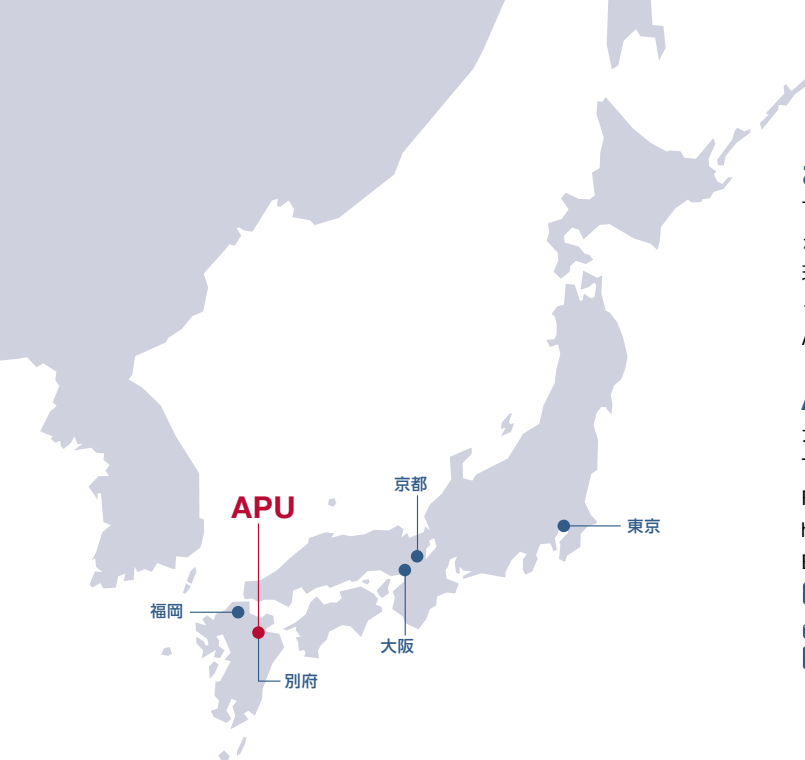
試験	1回生新入学	編入学・転入学
JLPT N1	90	100
JLPT N2	100	135
EJU (日本語) *	220	250

* 記述を除く

出願手順

- ・<http://r.apu.jp/apply> でオンライン願書を入力する
- ・書類を発送する (写真や原本書類等の郵送が必要なもの全て)
- ・入学検定料をクレジットカード (もしくは銀行送金) で納入する
 - 日本国外に居住する志願者の入学検定料額：3,500円 (クレジットカード) もしくは5,000円 (銀行送金)
 - 日本国内に居住する志願者の入学検定料額：36,800円 (クレジットカード) もしくは35,000円 (銀行送金)
- ・APU から面接日程の連絡が届く
- ・面接試験を受ける (オンライン・電話・対面のいずれかで実施)
 - ※日本国外在住者は、面接のために渡日する必要はありません
- ・選考結果が届く

選考結果には試験の可否に加えて、授業料減免の採否も記載されます。合格者は、入学手続金の納入や入学手続書類の提出を期限内に行う必要があります。入学手続を完了した合格者については、APU が在留資格認定証明書 (COE) の交付申請を代理で行います。合格者は交付されたCOE 及び入学許可書を居住国・地域を管轄する日本国大使館または総領事館へ提出し、留学ビザの申請を行ってください。



お問い合わせ

下記の国・地域にAPUの現地オフィス等があります。これらの国・地域にお住まいの方は現地窓口にお問い合わせください。

その他の国・地域にお住まいの方は直接APU アドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。

APU アドミッションズ・オフィス

大分県別府市十文字原1丁目1番

Tel: 0977-78-1119

Fax: 0977-78-1121

<http://r.apu.jp/apply>

Email: welcome@apu.ac.jp

Ritsumeikan.APU

APUAdmissionsOffice

ritsumeikanapu



APU 海外事務所

中国

Ritsumeikan Liaison Office
Shanghai Jiaotong University
D, 18F Sun Tong Infoport Plaza,
No. 55, Huaihai West Rd.
Shanghai City 200030 China
Tel: +86-21-6283-5104
Fax: +86-21-6283-5247
Email: apuchina@apu.ac.jp

台湾

APU Taiwan Office
C/O MIBC, F10F., NO.209, Sec. 1,
Civic Blvd., Datong Dist., Taipei City 103,
Taiwan
Tel: +886-2-2181-1666
Email: taipei@apu.ac.jp
 APUTW

連絡窓口

インド

Mr. Vishnu Vankayala
4th Floor, Vansh Building, AP-801,
1st Street, G-Block, 10th Main Road,
Anna Nagar, Chennai-040,
Tamil Nadu, India
Tel: +91-44-4352-2078
Email: s-india@apu.ac.jp

インドネシア

APU Indonesia Information Center
C/O MARQUEE, Mayapada Tower I,
11th Floor, Jl.Jend. Sudirman Kav. 28
Jakarta 12920 Indonesia
Tel: +62-21-5289-7328/7392
Email: apu-ina@apu.ac.jp
 apuindonesiaoffice

タイ

APU Thailand Office
1015 Room, 10th Floor, Serm-mit
Tower 159/16 Soi Asoke,
Sukhumvit 21 Road, Wattana,
Bangkok 10110 Thailand
Tel/Fax: +66-2-665-7145
Email: thailand@apu.ac.jp

スリランカ

Mr. Harin Gunawardena
183/1, Nawala Road, Nugegoda,
Sri Lanka
Tel: +94-714251314
Email: harin@apu.ac.jp

韓国

APU Korea Office
#608, Halla Classic Officetel 6th Floor,
23 Gangnam Daero 84 Gil,
Gangnam-gu, Seoul 135-934 Korea
Tel: +82-2-564-3425/3426
Fax: +82-2-564-3427
<http://www.ritsapu-kr.com>
Email: hello@ritsapu-kr.com

ベトナム

APU Viet Nam Office
Hanoi:
No A31D11, Alley 66/1, Lane 84
Tran Thai Tong St., Cau Giay District,
Hanoi, Viet Nam
Tel: +84-24-32-000-619

Ho Chi Minh City:
238/2B Nguyen Thi Minh Khai St.,
Ward 6, District 3,
Ho Chi Minh City, Viet Nam
Tel: +84-28-39-30-6432

<http://vietnam.apu.ac.jp>
Email: vietnam@apu.ac.jp
 apuvietnam

